

このバージョンの新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、ICMLive Configuration Manager v2021.8 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

SWMM ネットワークで 2D 境界オブジェクトの使用が可能に

2D モデリングを行う際、[2D ゾーン](#) 境界の一部に沿って境界条件を別途定義できるよう、[2D 境界](#) オブジェクトを使用することが可能となりました。このオブジェクトに [定義](#) された境界条件は、その境界線とポリゴン境界が一致する 2D ゾーンの境界タイプを上書きします。全ての 2D ゾーン [境界タイプ](#) ([Vertical wall](#)、[Critical condition](#)、[Supercritical condition](#)、[Dry](#)、[Normal condition](#)) が 2D 境界だけでなく、[Inflow](#)、[Level](#) や [Level&Head/discharge](#) の [境界線タイプ](#) でも使用することが可能です。

[Inflow](#) や [Level](#) の境界線タイプでは、流入や水位がノードに関連付けられるのと同じように、[流入イベント](#)や[外水位イベント](#) を通じて、2D境界に流入や外水位のハイドログラフが関連付けられます。[Level & Head/discharge](#) タイプの境界では、[水頭単位流量表](#) を2D 境界オブジェクトへ関連付ける必要があります。（下記をご確認下さい。）

SWMMネットワークに水頭単位流量表が追加に

SWMM ネットワークに [水頭単位流量表](#) オブジェクトが追加されました。これにより、[境界線タイプ](#) プロパティが [Level & Head/discharge](#) に設定されている [2D 境界](#) オブジェクトを、[水頭単位流量表](#)と関連付けることが可能となりました。[外水位イベント](#) のプロファイルは、境界ラインにおける水深を表します。この水深は、2D 境界ラインに接する要素での水深を差し引いて、各 2D 境界ラインでの水頭を計算するのに使用されます。選択した水頭単位流量表を基に、各メッシュの境界線における単位流量あるいは延長あたりの流量が計算されます。この流量は、メッシュの境界線の延長に応じて調整され、結果として 2D 領域に流入する流量が算出されます。

XPSWMM および XPStorm データからの2D境界と粗度ゾーンインポートが可能に

XPSWMM や XPStorm xpx ファイルから [2D 境界](#) や [粗度ゾーン](#) オブジェクトを InfoWorks や SWMM ネットワークへインポートすることが可能になりました。xpx ファイルからのインポート方法は、[Importing XPSWMM/XPStorm Data to InfoWorks Networks](#) と [Importing XP SWMM/XPStorm Data to SWMM Networks](#) をご覧ください。また、変換に関する詳細は、[XP SWMM/XPStorm Conversion Notes \(InfoWorks\)](#) と [XPSWMM/XPStorm Conversion Notes \(SWMM\)](#) をご覧ください。

XPSWMM および XPStorm データから InfoWorks IC ゾーン – 水理 (2D) オブジェクトのインポートが可能に

XPSWMM や XPStorm xpx ファイルから IC ゾーン – 水理 (2D) オブジェクトを InfoWorks ネットワークにインポートすることが可能になりました。xpx ファイルからのインポート方法は、[Importing XPSWMM/XPStorm Data to InfoWorks Networks](#) をご覧ください。また、変換に関する詳細は、[XPSWMM/XPStorm Conversion Notes \(InfoWorks\)](#) をご覧ください。

XPSWMM や XPStorm データから流入と外水位のイベントデータのインポートが可能に

XPSWMM や XPStorm xpx ファイルを InfoWorks や SWMM ネットワークの [流入イベント](#) や [水位/外水位イベント](#) にインポートすることが可能になりました。詳細については、[Importing Event Data](#) をご覧下さい。

資産ネットワークオブジェクトのプロパティシートが変更

資産 ネットワークオブジェクトの [プロパティシート](#) は、以前はデフォルトではタブ表示のモデルシートに表示されていました。これが変更され、現在はデフォルトで [オブジェクトプロパティウィンドウ](#) のプロパティエディタに表示されるようになりました。

[オプション](#) ダイアログの [全般タブ](#) にある「[資産ネットワークオブジェクトのプロパティエディタを使用](#)」のチェックを外すと、デフォルトの設定を変更することが可能です。

ヘルプメニュー

[ヘルプ](#) メニュー内のオプションの順序が変更になり、[ヘルプ](#) オプションがメニューオプションの一番上に表示されるようになりました。以前は、[Desktop analytics](#) メニューが一番上にありましたが、下へと移動になりました。

SWMM 2D シミュレーションに関するジョブ進捗の詳細

2D SWMM ネットワークオブジェクトを含むジョブの詳細が、[ジョブ進捗ウィンドウ](#) に表示されるようになりました。最小 2D タイムステップ、2D ゾーン ID、要素 ID、ぬれ面積、浸水エリア、最大潤辺、最大浸水エリア、2D ボリューム、2D ボリュームエラー、2D 降雨、2D 平均流入、2D 平均流出に関する情報がウィンドウに表示されるようになりました。

また、SWMM ネットワークを含むジョブでは、タイムステップの詳細も表示されます。

PRN ファイルの内容が一部変更

PRN 結果 [テキストレポート](#) の "Start of run" レコードの日付と時刻がISO 8601 フォーマットで表示され、UTC からのタイムゾーンオフセットが含まれるようになりました。ただし、シミュレーションは現地時間にてレポートされます。

ライセンス番号については、レポートのタイトルやヘッダーに含まれなくなりました。

ICM Exchange を使用してローカルエージェントへの TCP/IP 接続が可能

ICM Exchange を使用して TCP/IP で [ローカルエージェント](#) に接続することが可能になりました。詳細は、ICM Exchange documentation をご覧ください。詳細については ICM Exchange の関連文書をご覧ください。

ワークグループデータサーバーにて認証が必要

[ワークグループデータサーバー](#) において、認証するユーザーの指定がデフォルトにて必要となりました。詳細は [ワークグループデータサーバーアドミニストレーションガイド](#) をご覧下さい。